

令和3年度 浦添市まちづくりアカデミー
第5回

11月7日(日) 10時~13時
場所：なは市民協働プラザ

第5回講座『市民と行政の協働の取り組み なは市民協議会の発足と活動』



講師：饒波 正博 氏 (なは市民協議会)
知念 忠彦 氏 (なは市民協議会)
渡嘉敷 博美 氏 (なは市民協働プラザ)

ひょっこりゲスト：横山 芳春 氏

なは市民協働プラザにて、施設の視察、
なは市民協議会のお二人・なは市民協働プラザ職員、
協働を沖縄で最初に始めた横山 芳春氏 (元那覇市市職員) より
那覇の『市民と行政の協働の取り組み』について
お話を聞きました。

市役所職員と地域住民が
地域の隅々まで一緒に回り
調査をして
『地区ビジョン
(第3次那覇市総合計画の
もとなるもの)』を
作りました。

なは市民協議会では、
活動成果として
『まちづくりおたすけ本』を
作成しました。

地区ビジョンを受けて那覇市は、
基本構想に
『市民との協働におけるまちづくり』を
積極的に進めていくことを位置づけた。

阪神淡路大震災の経験が
基本構想に影響した。



○ 受講者の感想 ○

那覇市の協働のまちづくりが30年近い
時間の蓄積で成り立っていることに
素晴らしいと思いました。
また、継続することの力を実感しました。
成熟した町のあり方だと思います。

○ 那覇市の協働の指標 ○

利用団体の登録者数。委託・共催などの数。
協働大使の数など。

協働の指標は、数だけではなく、
何のために活動するのかを
突き詰めていかなければならない。



「琉球新報 令和3年11月16日 火曜日 掲載」

浦添市まちづくりアカデミー 第5回講座 アンケート結果

1. 今日の講座の感想をお聞かせください。

那覇市の協働のまちづくりが30年近い時間の蓄積で成り立っていることに素晴らしいと思いました。また、継続することの力を実感しました。成熟した町のあり方だと思います。

2. 浦添でできそうなことはありますか。

この浦添市まちづくりアカデミーが浦添の協働の始まりになるかもしれません。過去の受講生や次年度以降の受講生が引き続き交流できる場があるといいと思います。人と人が結びつくことで問題提案、解決の力になると思います。

『第5回講座の様子』



「なは市民協議会の取り組み（知念氏、饒波氏）」

「意見交換会の様子」



「第5回講座 集合写真」